

## 表皮水疱症を対象とした Muse 細胞製品 (CL2020) の臨床試験結果 に関するお知らせ

株式会社生命科学インスティテュート

株式会社生命科学インスティテュート（本社 東京都千代田区、社長 木曾誠一、以下「LSII」）は、北海道大学病院、東邦大学医療センター大森病院ほかにて 2018 年 12 月から実施しておりました表皮水疱症患者を対象とした Muse 細胞製品 (CL2020) の臨床試験結果を得ましたので、お知らせします。

本試験の結果から、CL2020 投与後 52 週までの安全性に特に問題は認められませんでした。また、有効性は当初の目標を達成しました。詳細については、今後、学会または学術雑誌での公表を予定しています。なお、LSII では、CL2020 での本適応症の承認取得に向け、規制当局とも相談しながら引き続き開発を進めていきます。

今後も、LSII は Muse 細胞製品をはじめとして次世代に向けたヘルスケア事業を展開することで、世界中の人々の健康・医療に貢献し、人々が健康で安心な社会、KAITEKI の実現を目指します。

以上

### 【Muse 細胞】

2010 年に東北大学の出澤真理教授のグループによって発見された Muse 細胞 (Multilineage-differentiating Stress Enduring cells) は、体内で様々な種類の細胞に分化することができ、腫瘍化のリスクが非常に低い新しいタイプの多能性幹細胞です。Muse 細胞は末梢血や骨髄、および各臓器の結合組織中に分布している内因性の修復幹細胞で、遺伝子の導入や事前に分化誘導したり、外科手術で細胞を移植したりする必要もなく、そのまま静脈内に投与するだけで損傷部位に集積し、そこに生着して組織を修復するという特徴を有しています。

### 【表皮水疱症】

表皮水疱症は、表皮～基底膜～真皮の接着を担っている接着構造分子が生まれつき少ないか消失しているため、日常生活で皮膚に加わる力に耐えることができずに皮膚や粘膜が擦れることにより水ぶくれ（水疱）や潰瘍が生じてしまう病気です。国の指定難病に登録されており、日本国内には、約 500～1000 人の患者さんがいると予想されていますが、現段階で有効な治療法はなく、新しい治療法の開発が望まれています。

[本件に関するお問い合わせ先]

株式会社生命科学インスティテュート 経営企画部 広報担当： TEL 050-3188-2753  
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室： TEL 03-6748-7140